株式会社フォトクリエイト 2016年6月期(第15期)第3四半期 決算補足説明資料



2016年5月13日



- 1. 決算の概要
- 2. 計画の進捗状況
- 3. 新しい取り組み

(参考) 会社概要

1. 決算の概要

- 売上高(総額表示)は2,705百万円(前年同期比109.0%)、 営業利益は38百万円(前年同期比73.6%)、 経常利益は39百万円(前年同期比73.1%)で着地しました。
- <u>減益となっていますが計画に沿ったもの</u>であり、 通期計画に影響ありません。
- 前期4Qより一部サービスの売上表示方法を変更したため、 開示上の売上高(純額表示)は、2,333百万円となります。 ※営業利益・経常利益・四半期純利益は変わりません。
- 3月に、AR(Augmented Reality:拡張現実)技術を活用した 新商品「snapair(スナップエアー)」を まず「スナップスナップ」で発売開始しました。

決算の概要(前期との比較)



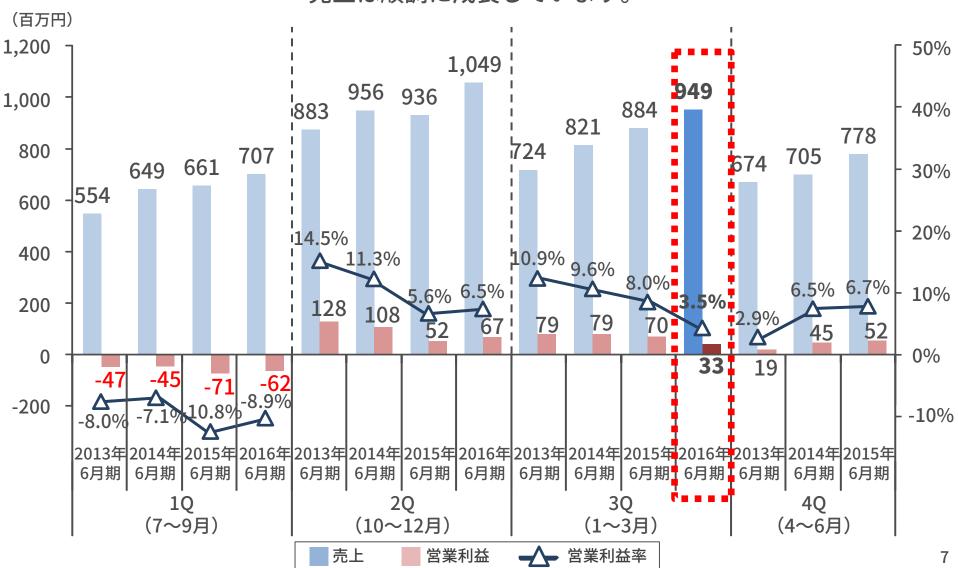
減収となっているのは前述の売上表示変更の影響であり、実質増収。 減益も計画に沿ったものであり、売上・利益ともに順調に推移しています。

上段:金額(百万円) 下段:売上比	当期3Q累計 (2015/7~ 2016/3)	前期3Q累計 (2014/7~ 2015/3)	前年同期比	前年同期差
売上高	2,333	2,481	94.0%	△148
原価	1,268 54.4%	1,495 60.3%	84.8% △7.2%	△227
売上総利益	1,065 45.6%	986 39.7%	108.0% +7.2%	+78
販管費	1,027 44.0%	934 37.7%	109.9% +5.7pt	+92
営業利益	38 1.6%	51 2.1%	73.6% +1.5pt	△13
経常利益	39 1.7%	53 2.2%	73.1% +1.4pt	△14
四半期純利益	21 0.9%	29 1.2%	73.2% +0.9pt	△7

過去との比較を容易にするため、 以降、総額表示にて説明いたします。 フォトクラウド事業の成長に向けた投資により減益となっていますが、 計画に沿ったものであり、通期計画に影響はありません。

上段:金額(百万円) 下段:売上比	当期3Q累計 (2015/7~ 2016/3)	前期3Q累計 (2014/7~ 2015/3)	前年同期比	前年同期差
売上高	2,705	2,481	109.0%	+223
原価	1,640 60.6%	1,495 60.3%	109.7% +0.4pt	+145
売上総利益	1,065 39.4%	986 39.7%	108.0% △0.4pt	+78
販管費	1,027 38.0%	934 37.7%	109.9% +0.3pt	+92
営業利益	38 1.4%	51 2.1%	73.6% △0.7pt	△13
経常利益	39 1.4%	53 2.2%	73.1% △0.7pt	△14
四半期純利益	21 0.8%	29 1.2%	73.2% △0.4pt	△7

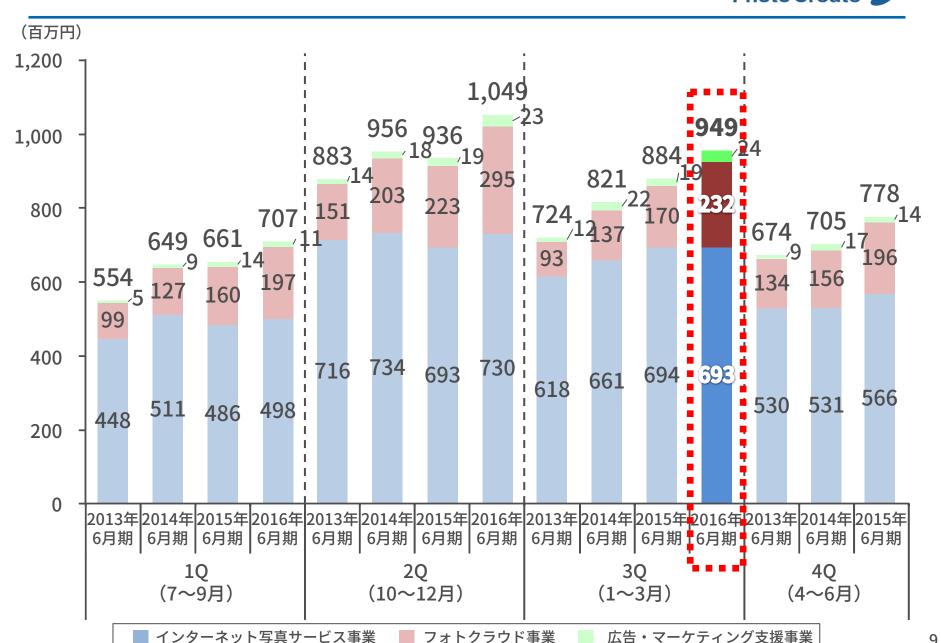
過去最高の売上となった2Qに続きフォトクラウド事業の成長が寄与し、 売上は順調に成長しています。



いずれの事業においても増収を達成しました。 特に、注力しているフォトクラウド事業は大きく成長しています。

単位:百万円		当期3Q累計 (2015/7~2016/3)		前期3Q累計 (2014/7~2015/3)		前年
			構成比		構成比	同期比
売上高		2,705	-	2,481	_	109.0%
	インターネット写真 サービス事業	1,921	71.0%	1,875	75.6%	102.5%
	フォトクラウド事業	725	26.8%	553	22.3%	130.9%
	広告・マーケティング 支援事業	59	2.2%	53	2.1%	112.4%

事業別売上高の推移

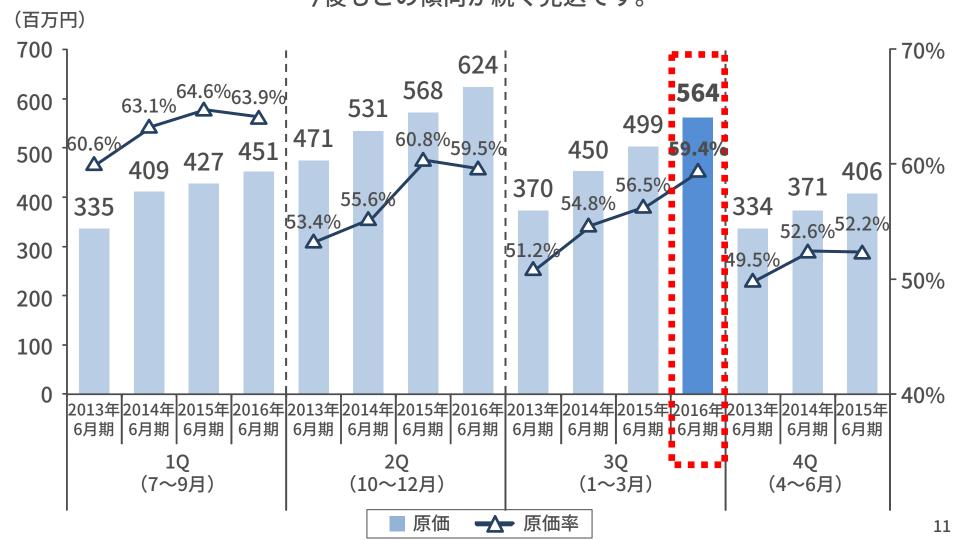


上段:金額(白万円) 下段:売上比 (2015/7		当期3Q累計 (2015/7~ 2016/3)	前期3Q累計 (2014/7~ 2015/3)	前年同期比	コメント	
原価		E	1,640 60.6%	1,495 60.3%	109.7% +0.4pt	フォトクラウド事業が成長しているにも 関わらず、スポーツ領域における原価率 改善により原価率の上昇が抑制
	揖	最影前原価*1	1,381 51.1%	1,265 51.0%	109.2% +0.1pt	
		撮影代	533 19.7%	541 21.8%	98.5% △2.1pt	撮影対象イベントの見直しとカメラマン 人数の適正化を徹底した結果、売上を増 やしながらの原価削減に成功
		撮影協賛金	780 28.8%	647 26.1%	120.4% +2.7pt	フォトクラウド事業の大幅な成長による レベニューシェアの増加
		その他	67 2.5%	75 3.0%	89.8% △0.5pt	
	集	⊌造原価*²	259 9.6%	230 9.3%	112.5% +0.3pt	フォトクラウド事業の成長による プリントが増加

- *1 カメラマンへの報酬や配布チラシの印刷費等、イベントの撮影に直接係る費用を「撮影前原価」としています。
- *2 購入された写真のプリント等、イベントの撮影後に発生する費用を「製造原価」としています。

原価の推移

原価率が3四半期連続の改善から上昇に転じていますが、 スポーツ領域での原価率改善をフォトクラウド事業の成長が上回った結果であり、 今後もこの傾向が続く見込です。

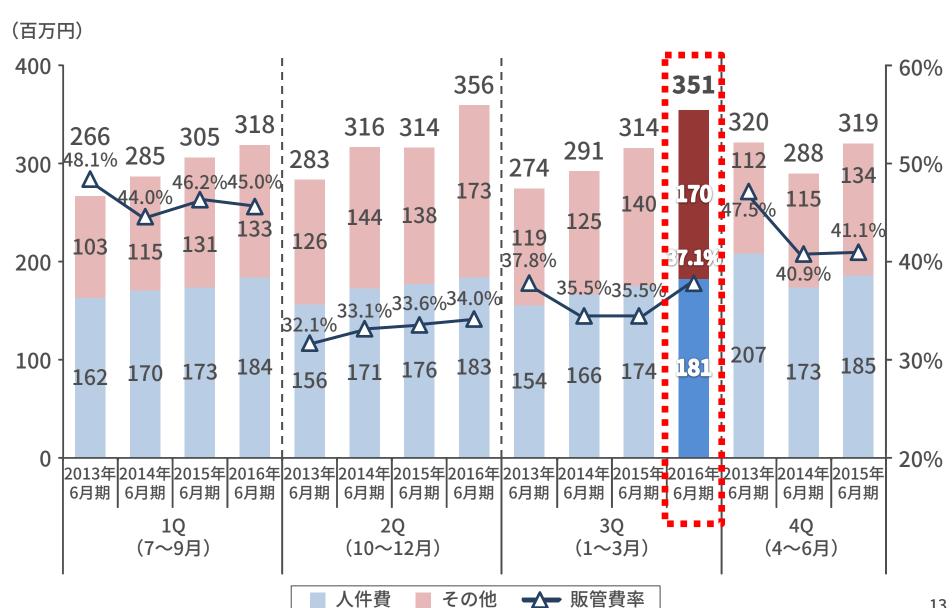


人件費以外は、サービス強化のために行っている施策で増加するも、 概ね計画どおりです。

上	段:金額(百万円) 下段:売上比	当期3Q累計 (2015/7~ 2016/3)	前期3Q累計 (2014/7~ 2015/3)	前年 同期比	差異要因
販	管費	1,027 38.0%	934 37.7%	109.9% +0.3pt	
	人件費 ^{*1}	549 20.3%	524 21.1%	104.7% △0.8pt	
	その他	477 17.7%	410 16.5%	116.5% +1.1pt	サービス強化等に対する投資の増加

^{*1} 人件費は役員報酬、給与手当、雑給、賞与、法定福利費、福利厚生費等の合計です。

販管費の推移



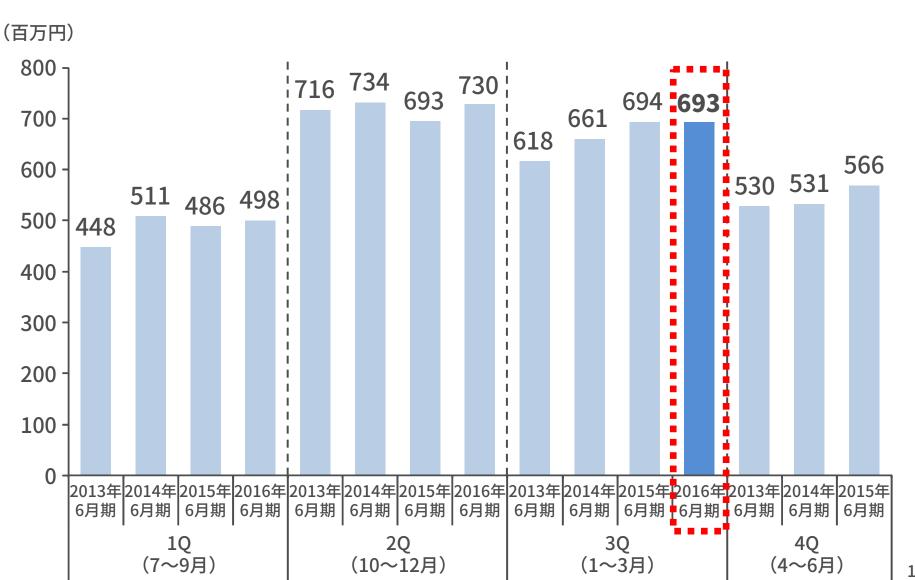
事業別の業績概要

- 1. インターネット写真サービス事業
 - 2. フォトクラウド事業
 - 3. 広告・マーケティング支援事業

売上の推移



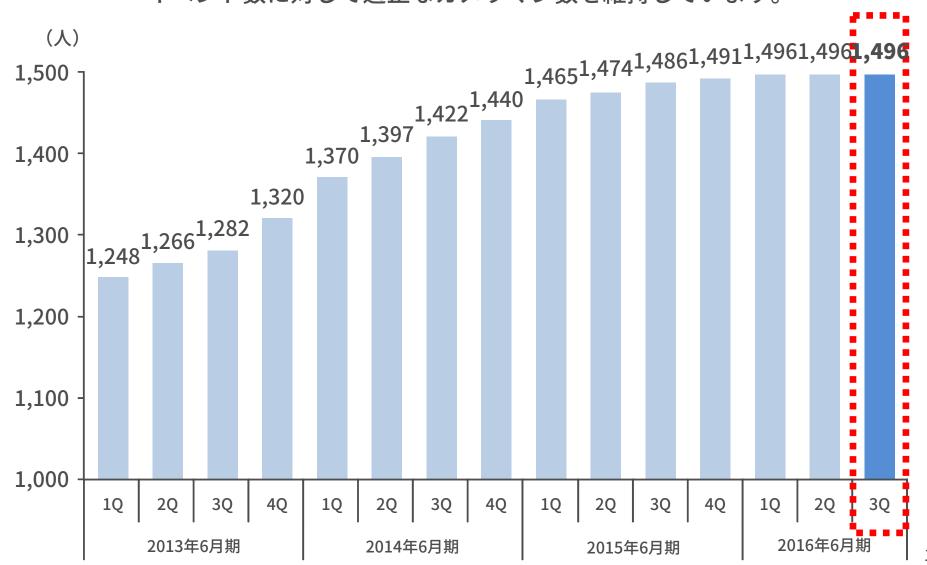
一部大型イベントの売上が4月にずれ込んだため、ほぼ横ばいとなっています。



カメラマン数(累計)

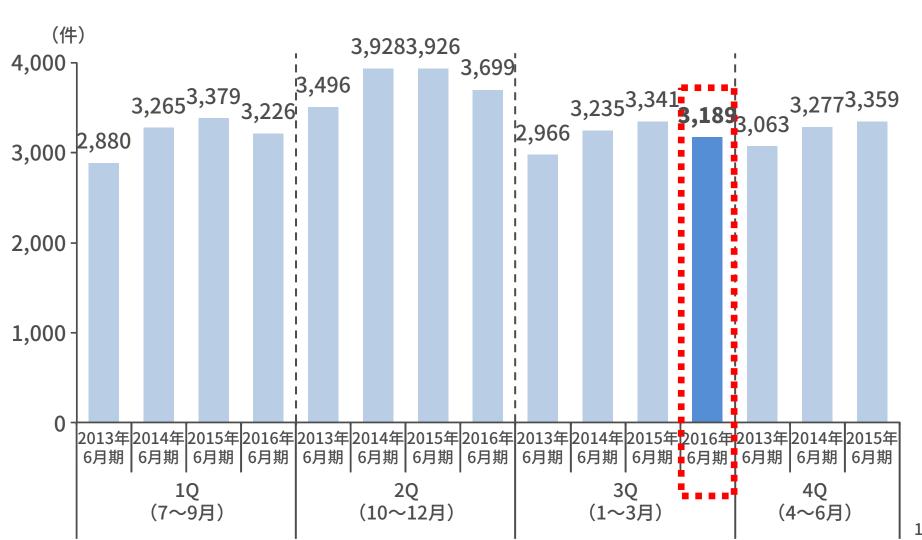


カメラマンの増加はないが、イベントを絞り込んでいることもあり、 イベント数に対して適正なカメラマン数を維持しています。



掲載イベント数

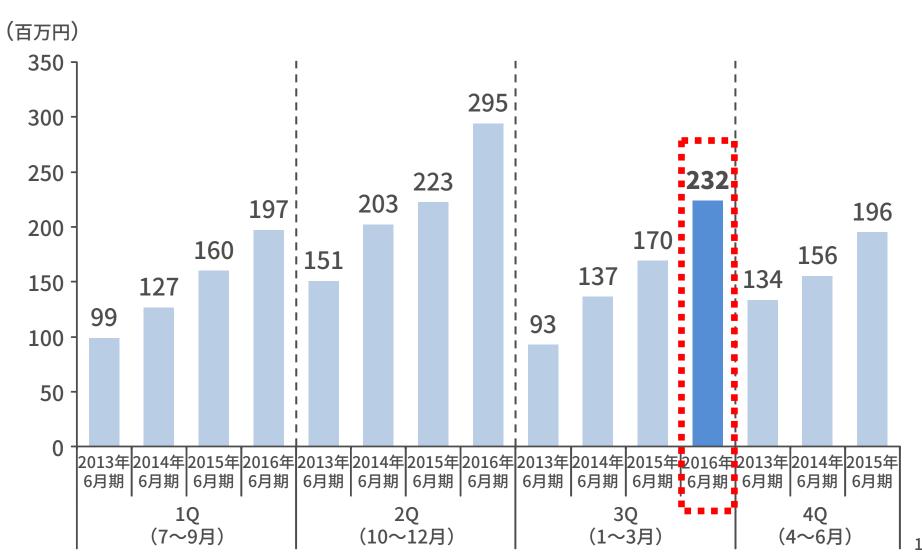
原価率改善策の一環として撮影イベントを選別していることにより、YoYで約5%減



事業別の業績概要

- 1. インターネット写真サービス事業
 - 2. フォトクラウド事業
 - 3. 広告・マーケティング支援事業

注力している教育領域においてはYoYで156.6%と大きな増収を達成しました。



【教育領域】事業環境



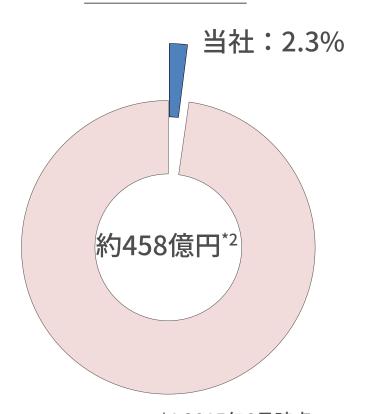
学校写真は、EC化が遅れており、かつ市場規模が大きい中、 当社のシェアはまだ小さく、成長余地が大きい状況にあります。

導入数シェア

当社:4.4% EC化率9~10% (推定) 79,063 園・校

出典:総務省統計局「日本の統計 2015」

金額シェア^{*1}

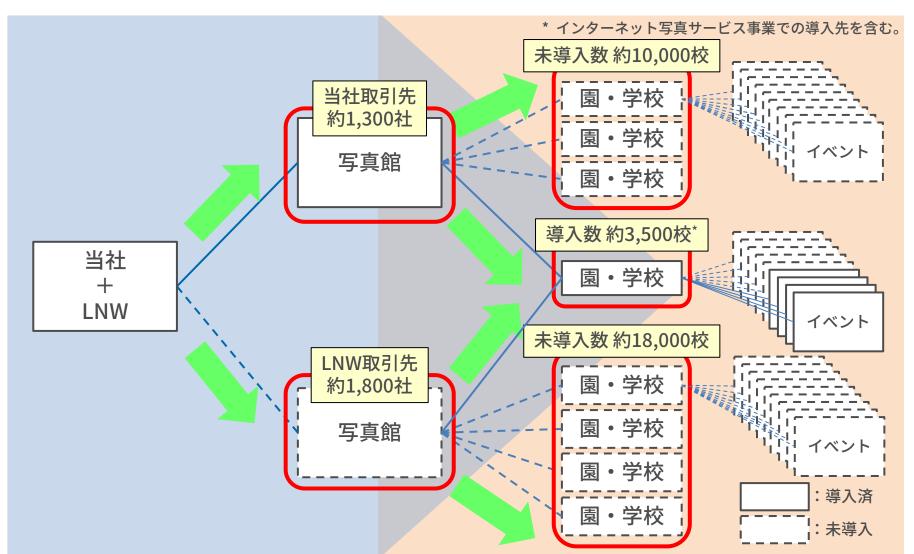


*12015年6月時点
*2 当社調べによる推計

【教育領域】提携効果のイメージ

Photo Create 2

全国に営業網を持つラボネットワーク(LNW)社との協業が進んでおり、 拡大スピードがスピートアップしています。

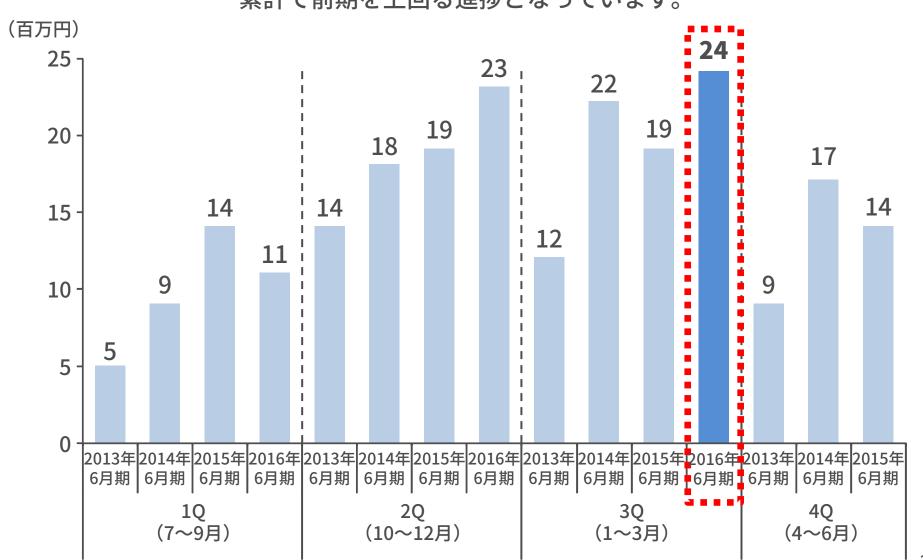


事業別の業績概要

- 1. インターネット写真サービス事業
 - 2. フォトクラウド事業
 - 3. 広告・マーケティング支援事業

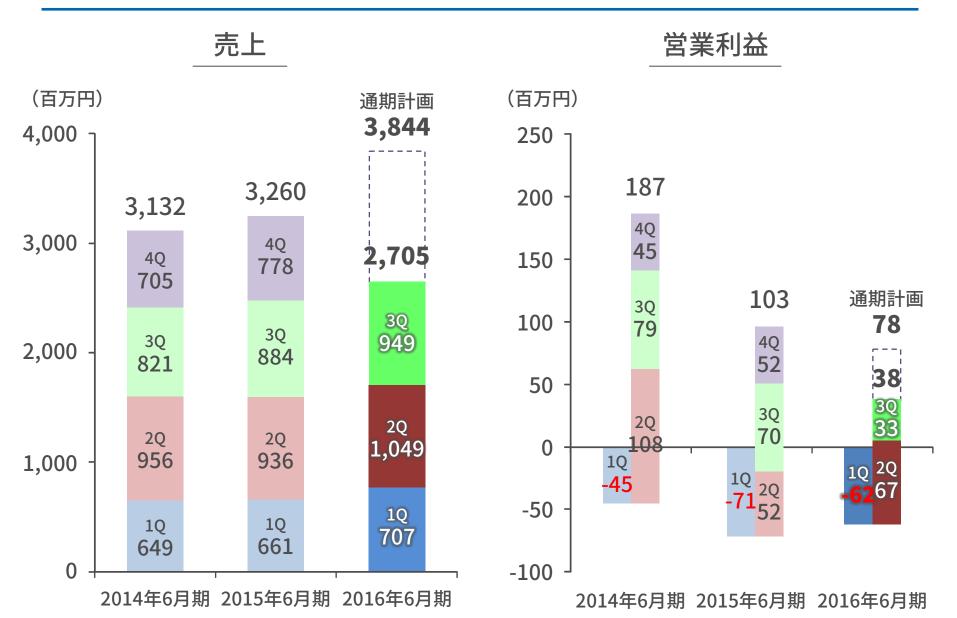
売上の推移

大型イベントのタイアップ案件を継続受注できており、 累計で前期を上回る進捗となっています。



2. 計画の進捗状況

業績の進捗状況



(注)純額表示で記載している開示資料とは数字が異なります。

3. 新しい取り組み

AR技術を使った"動く写真"「snapair」



- ・ 購入した写真にスマホをかざすと、その写真の撮影前6秒間の映像を見ることができる新商品「snapair(スナップエアー)」(ビジネスモデル特許出願中)を開発し、卒園・卒業シーズンの3月より販売を開始しました。
- 今後、学校写真以外の領域への横展開を予定









■「親・子ども・先生 きずなプラス プロジェクト」とは スナップスナップを

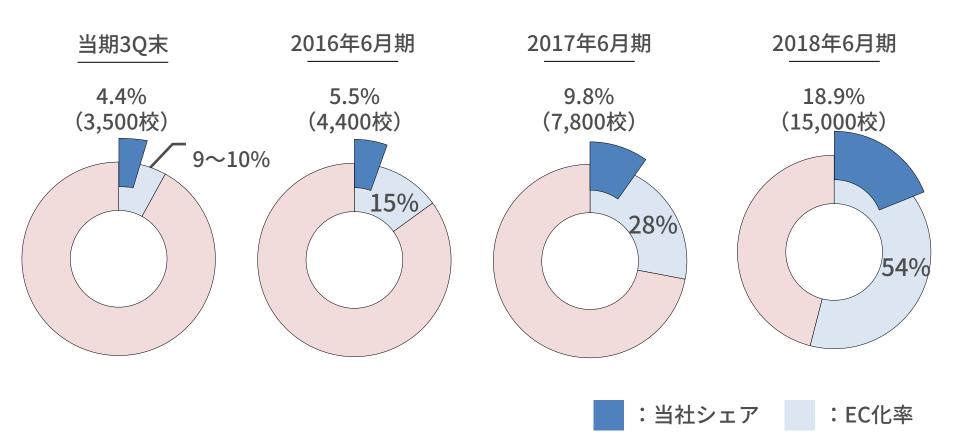
「学校写真向けインターネット写真販売サービス」から 「周囲の絆を育む子どもの成長メディア」へと進化させる新しい事業構想

■活動概要

- ① 写真を通じたコミュニケーション促進のための調査・研究
- ② 「いい写真」を追求するための幼稚園・保育園との取り組み
- ③ スナップスナップの各種機能強化のためのサービス開発



■プロジェクトの狙い





- ■「親子・夫婦・保護者と先生のコミュニケーション実態調査」を実施
- 玉川大学教育学部乳幼児発達学科准教授の田澤里喜氏監修の下、 保育園・幼稚園・認定こども園の年少クラス(3歳児クラス)から 小学校2年生までの幼児・児童を持つ保護者5,000人を対象に実施しました。
- 「インターネット写真販売サービスの利用とコミュニケーションの関係」 の調査では、サービスを利用することによって約半数の家庭のおける 家族間のコミュニケーションに良い変化を与えていることが示されました。
- 調査結果の詳細は以下のURLをご参照ください。 http://kizunaplus.snapsnap.jp/

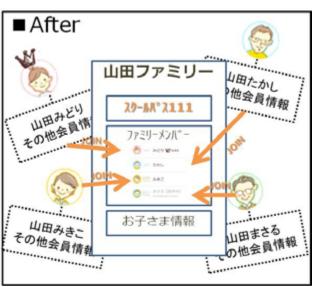


- ■プロジェクト活動報告のメディアセミナーを3月14日に開催
- 新聞・雑誌・Webメディアから約30社が来場した中、 「親子・夫婦・保護者と先生のコミュニケーション実態調査」の 報告および監修者による考察を発表しました。
- このセミナーをきっかけに、全国紙・週刊誌・テレビ局を始めとする、 各種メディアから、「スナップスナップ」に関する取材が入り、 今後全国的に露出が増加する予定です。



- ■「スナップスナップ」にファミリーページ機能を追加(4月13日)
- 「スナップスナップ」を、"便利なインターネット写真販売サービス"から "周囲の絆を育む子どもの成長メディア"へと進化させていく計画を進行中
- コミュニケーションを促進する機能の第1弾として、閲覧用パスワードを家族で共有できる「ファミリーページ」を追加





(参考) 会社概要

会社概要・沿革



会社概要

社名 株式会社フォトクリエイト

設立 平成14年(2002年) 1月24日

資本金 262百万円(2016年3月31日現在)

社員数 106名(2016年3月31日現在)

沿革

ラボネットワーク社と業務提携 2015 アロバ社を持分法関連会社化

カルチュア・コンビニエンス・クラブ社と資本提携 2014

東証マザーズ上場 2013

JALホノルルマラソン 2011

2012 スマホタブレット対応

Facebook連携

2009 グロリアーレ開始

東京マラソン第一回大会 2007

2006 スナップスナップ開始

2005 西日本支社設置

2003 オールスポーツコミュニティ開始

2002 フォトクリエイト設立



インターネット写真サービス事業

情報収集 撮影許可 カメラマン による撮影 Webサイト に掲載 プリント ダウンロード

発送・決済

フォトクラウド事業

撮影事業者による撮影 (写真館・結婚式場) インターネット写真販売の プラットフォームを提供

広告・マーケティング支援事業

当社の資産と顧客企業の商品・サービスを組み合わせ、 顧客企業の認知度向上や販促施策を支援

Webサイト オールスポーツコミュニティ





スポーツを行っているユーザー月間45万人が集まるサイト 全国各地約80種目のスポーツイベント年間6,000大会強を撮影

主な種目

マラソン



年間600大会、240万人のランナーを 撮影、大規模マラソン市場の9割を撮影



自転車

オールスポーツを知らない人はいないほど、 市場の9割を撮影 年間総勢21万人の参加者と接点

























ダンス

avex Dance NATIONやUSA Nationals in Japanなど、ジュニア層の大型ダンスコンテストを多数撮影

サッカー

ジュニアの大型大会を中心に撮影 またJリーグ系 7 チーム、海外リーグ サッカースクールと提携





幼稚園・保育園・小学校等の教育機関と提携、年間行事を 撮影・販売、お子様を通わせている保護者が利用しています



サービスのメリット

- ・ 掲示〜写真の管理・仕分け〜集金〜保管といった業務の削減
- ・ 展示スペース・掲載枚数の制約がなくなり、一人一人に焦点を当てた 多くの写真の撮影が可能
- ・ 忙しい保護者の方、そして遠方のご家族でも、24時間写真を閲覧可能

売上の表示方法について



ラボネットワーク社との業務提携により、 フォトクラウド事業における学校写真領域において、 「スナップスナップ」の開発と写真館へのノウハウ提供に専念

前期3Q以前の売上 (総額表示)

写真の販売額

- 写真館とのレベニューシェア
- 製造コスト

前期4Q以降の売上 (純額表示)

_= _システム提供及びノウハウによる収益

前期3Q以前の粗利

本資料に記載された情報や業績予想等の将来見通しは、 本資料作成時点において入手可能な情報及び当社が合理的 と判断した一定の前提に基づいて作成されております。 今後、経営環境の変化等の事由により実際の業績や結果 とは異なる可能性があります。

> 本資料及び当社IRに関するお問い合わせ 株式会社フォトクリエイト 管理本部経営管理部 (03) 6812-7054 ir@photocreate.co.jp